

イラン国  
バム地震災害復興支援フォローアップ  
調査報告書

平成 17 年 10 月  
(2005 年)

独立行政法人 国際協力機構  
(地球環境部)

## 序 文

日本国政府は、イラン国政府からの要請にもとづき、2002年8月から2004年8月にかけて開発調査「イラン国大テヘラン圏総合地震防災及び管理計画調査」を実施し、防災体制の整備、地震防災の事前対策計画、緊急対応計画、復旧・復興計画等に関する計画を取りまとめた。

調査実施中の2003年12月26日、イラン南部ケルマン州バム市において約4万人が死亡する地震（以下「バム地震」とする）が発生した。わが国は、上記開発調査に追加する形でバム地震の復旧・復興支援を行い、上下水道中長期復興計画の策定、配水池及びポンプ場等付帯施設の建設、配水管の敷設等の活動を2005年3月に完了した。また、配水池及びポンプ場等付帯施設の建設に関しては、6ヵ月後の共同瑕疵検査の実施が合意された。

わが国は、上記調査において合意した共同瑕疵検査の実施のため、2005年9月15日から9月23日までの8日間にわたり、独立行政法人国際協力機構地球環境部調査役 横倉順治氏を団長とするフォローアップ調査団を現地に派遣した。

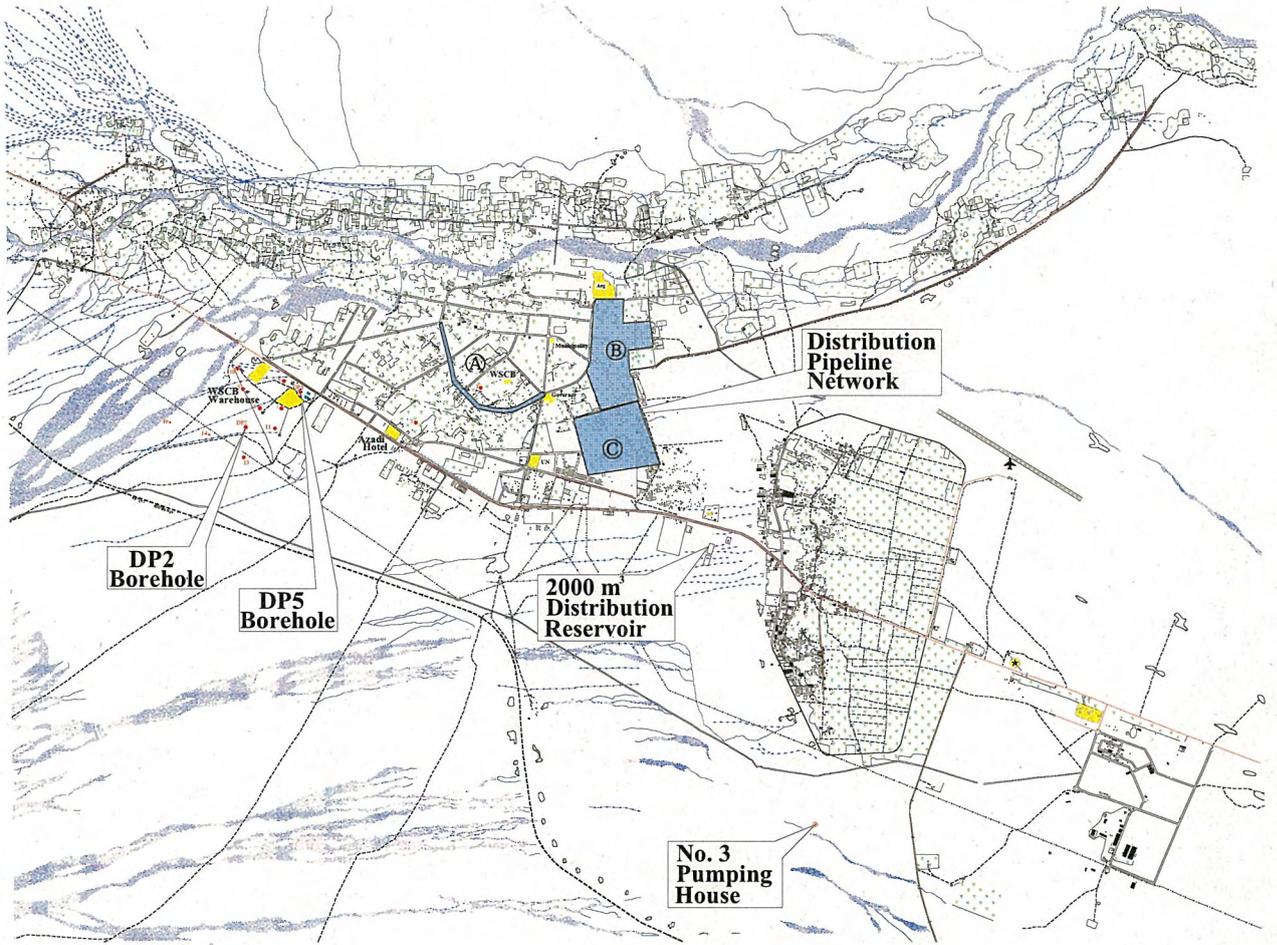
調査団は、本件の背景を確認するとともに配水池、ポンプ場等付帯施設および配水管に関してイラン側との共同瑕疵検査を実施した。

本報告書は、今回の調査を取りまとめるものである。

ここに、調査にご協力いただいた関係各位に対し深く謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第である。

平成17年10月

独立行政法人 国際協力機構  
地球環境部長 富本 幾文

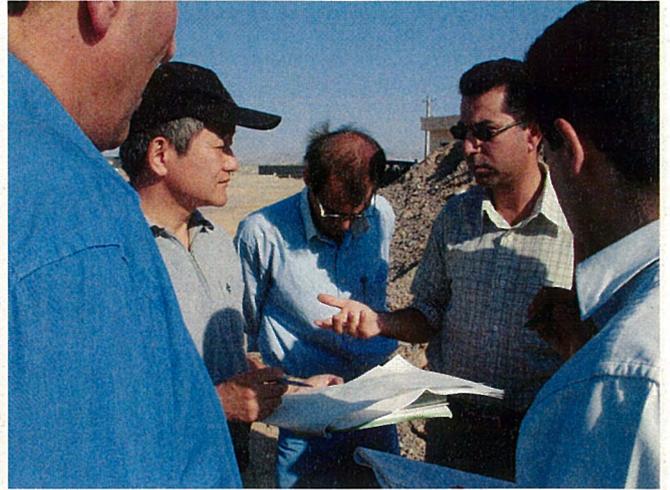


調査対象地域位置図

## 現地写真



WSCK 表敬訪問の様子



瑕疵検査方法について WSCK との打ち合わせ



取り付けられていないフローメーター



滅菌室と結ばれていない弁室



結ばれていない配水管



結ばれていない配水管の末端